

令和元年度第 1 回学術集会プログラム等検討委員会

日時：令和元年 7 月 11 日（木）8～9 時

場所：ウェリス川越 1 階大楽屋 1 - 1

出席：松山幸弘（担当理事）、渡辺雅彦（委員長）、紺野慎一、高相晶士、波呂浩孝、永島英樹、種市洋、中村博亮、根尾昌志、中村雅也（オブザーバー）、馬場一郎（オブザーバー）、大和雄（オブザーバー）、八木満（オブザーバー）

欠席：島田洋一

議事

報告事項

1. 前回議事録の確認（資料 1）

全会一致で承認された。

2. 理事会報告（松山担当理事）

本委員会は学術集会の今後の方向性を考慮し、漸次進め行く。

3. 第 48 回学術集会報告（波呂浩孝前会長）

2019 年 4 月 18 - 20 日にパシフィコ横浜で開催された。参加者は 2,597 人で大変盛況であり、収入は 175,736,821 円であった。3 名の EPA セッション、英語一般口演の演者が連絡なく欠席された。英語演題は 98 演題あり、英語セッションは開催 1 日目は多くの参加者があったが、2 日目はやや参加者が少なかった。次回委員会で会計決算報告を行う予定である。

4. 第 49 回学術集会報告（松山幸弘会長）

2021 年 4 月 16 - 18 日に名古屋国際会館で開催予定である。本学会の国際化を推進するためにシンポジウム、主題、教育研修講演、セミナーは英語で行いたい。波呂委員、中村オブザーバーより脊椎脊髄外科医の現状を考慮すると、あまり英語講演が多いと討議が不十分になる可能性や、医療倫理などの一部の講演では内容が十分に参加者に伝わらない可能性や、参加者が減る可能性が指摘された。討議は日本語で行い、講演の内容によっては日本語でも可とする提案がなされた。渡辺委員長より、JSSR として英語化を今後どのように進めていくのか一定の方向性を示す事が必要ではないかとの提案がなされた。

5. 第 50 回学術集会報告（根尾昌志次期会長）

2021 年 4 月 22 - 24 日に国立京都国際会館で開催予定である。予算は 98,485,000 円を見込

んでいるが、今後少し増加するものと予想している。50周年記念大会であり、テーマは“レジェンドを知る・レジェンドを創る”である。テーマの特性上英語の講演の割合はあまり増えない可能性がある。外国人参加者に対応するために日本語から英語への通訳を検討する。京都国際会議場に新しいホールが完成し展示会場として使用予定である。アネックスホールは使用しない。

6. その他

波呂委員、中村委員よりコンベンション会社の情報の共有が十分なされていない点や、対応が遅い点等の問題点が指摘された。社内での情報共有等について改善をもとめていく。

審議事項

1. 第51回学術集会について（中村雅也次々期会長）

2022年4月21-23日にパシフィコ横浜ノースで開催予定である。コングレとJTBの2社に予算案の相見積もりを依頼し、内容について説明があった。予算案の総額はJTBが約200万円程度廉価であるが、理由は主に展示などの収入試算をコングレは48回学術集会の実績を、JTBは47回学術集会の実績を基準にして算出しているためである。内容や予備費の計上、これまでの継続性と実績等を勘案してコングレを採択したいとのことであり、全会一致で担当コンベンション会社はコングレに依頼することが承認された。

2. 第52回学術集会について（種市洋会長）

今後順次検討していく

3. 第53回学術集会について（渡辺雅彦会長）

今後順次検討していく

4. 次回委員会の日程調整

今回は日本整形外科学会専門医試験にあわせて神戸ポートピアホテルで2020年1月23日（木曜日）に行う。

5. その他

1) 学術集会における共催セミナーの価格設定について

共催セミナー価格の上限が以前より設定されているが、物価の上昇や参加者増加から、価格設定の変更が提案された。今後消費税の増税も加味する必要があるため、共催セミナーの価格上限の引き上げ（20万円）を本委員会から理事会に上申することになった。

2) 学術集会における共催セミナーの税務処理について

現在は事業収入に関する納税のルールは明確にしていないが、共催セミナーについては抄録集にスポンサー企業名を明記しないこと、消費税を徴収しないことなどの対応策が議論された。

3) 委員の委嘱について

学術集会プログラム等検討委員会は学術集会の進捗や問題点について検討する委員会であり、学術集会会長の出席は不可欠であるため、第51回学術集会中村雅也会長に学術集会プログラム等検討委員会委員を委嘱することについて、理事会に上申することになった。

以上